

2023-24 RI会長 ゴードン・R・マッキナリー
RI 2820地区ガバナー 大久保 博之

Hasaki Rotary Club Weekly



No.2197号 2023年12月14日発行
疫病予防と治療月間

例会プログラム

- | | |
|-----------|------------|
| ・点 鐘 | ・幹 事 報 告 |
| ・国 歌 斉 唱 | ・委 員 会 報 告 |
| ・ロータリーソング | ・ニコニコ・財団報告 |
| ・RIテーマ唱和 | ・出 席 報 告 |
| ・ビジター紹介 | ・卓 話 |
| ・会長あいさつ | ・点 鐘 |

創立：1978年2月23日
加盟：1978年4月14日
例会場・事務所：神栖市商工会波崎支所
〒314-0343 茨城県神栖市土合本町5丁目9809-527
電話 0479(48)0333
例会日：毎週木曜日 12時30分～13時30分
○会 長 篠 塚 茂 男
○会長ニレト兼副会長 西 條 健 一
○幹 事 西 條 健 一
○副 幹 事 後 藤 美紀代

第2196(20回) 例会報告

令和5年12月7日(木)晴れ
進行：菅谷SAA

本日のお客様:安藤 順造 様(株agri new winds)管理長

◇ 会長あいさつ篠塚会長

本日の例会には、米山奨学生が訪問されております、のち程お話しをして頂けると思います。

今日の例会は、サイパンRC訪問の報告になっている為に、私からは、交わした事柄の合意の内容について報告致します。合意の内容は下記の通りとなっております、どうか皆さん良く確認をしておいて下さい。



1. 早期に双子クラブ関係締結証書に署名する (すでに10月29日に署名済)。
2. 4名の留学生は飛行機のスケジュールに応じて、約1週間程滞在する。
3. 学期中に高校を訪問し、文化および地域特有の体験をする予定、サイパンからの留学生の以前の体験は、イチゴ狩り、書道、フラワーアレンジメントなど。
4. 児童虐待やハラスメントに関する懸念があるため、留学生を確実に保護するための協定に署名をする。
5. 波崎の前会長金子大作氏、前会長後藤美紀代氏は、学生の選考プロセス、スケジュールなどその他の手配など、サイパンRCの前会長/次世代リクルート理事グレッグ・ボルハ氏と緊密に協力し、この交換留学生プログラムを主導する。
6. 篠塚会長と前会長金子氏は、サイパンRC会員スチュワート宏子氏に、日本語のメールで助成金の詳細等を伝える。

上記の様な内容で合意をしました。サイパンからの留学生の受け入れの日程は、正式に決定していません、2750地区の地区大会にサイパンRCの役員が、出席する為に東京に来られます。2024年2月26、27日あたりかも知れませんが、現在は未定ですが、サイパン側で決まり次第にスチュワート宏子さんから連絡が来ると思います。受け入れ側の波崎RCも、受け入れ準備を始めないと行けないと思います、国際奉仕委員会青少年奉仕委員会の担当になりますので、担当する委員長は宜しくお願い致します。

◇ 幹事報告西條(健) 幹事

1. 理事会報告として、次次年度の会長、安藤寿博さん 幹事、高橋佑至さんの承認が得られました。コインボックスの会計より一般会計へ40万円を入金する事についての承認が得られました。
2. ガバナー事務所より秋田豪雨災害支援金1,728,000円を無事に秋田へ送金致しましたとの報告がありました。それからロータリー賞の書類が届きました。



◇ 卓話 ……………安藤 順造 様 (株agri new winds)

しいたけ栽培についてお話しされました。詳しくは別紙参照。



◇ 食生活を変えて温室効果ガスを減らす

電気自動車や風力発電など、気候変動を抑えるためのさまざまな対策が取られています。しかし、効果的な解決策の一つは、実は私たちの食生活にあります。専門家によると、私たちが「何を食べるか」という選択は、人間の健康だけでなく、地球の健康にも大きな影響を与えます。

人類が引き起こす温室効果ガスの推定3分の1は、世界の食料システムから排出され、特に畜産関連が大きな部分を占めています。例えば、植物性（プラントベース）の食品だけを食べる人は、通常量の肉を毎日食べる人よりも、温室効果ガスの排出量が75パーセントも少ないことが、オックスフォード大学の研究で示されています。

気候変動や環境への影響、動物保護、健康への懸念によって、植物性食材への関心は高まりつつあります。その名の通り、これには果物や野菜、ナッツ類、種や油、全粒粉、豆類などが含まれます。

キャメロンさんのクラブでは月に1度、植物性の食品を使った料理を地元YWCAに持ち寄り、住民にふるまう啓発活動を行っています。6月のある晩に開かれたパーティでは、魚介類の代わりにアーティチョークを使ったベジタリアンパエリア、スパイシーなパッタイ、カラフルなサラダなど十種以上の料理が並べられ、笑いと香ばしい匂いであふれていました。

食料生産による排出ガスは主に農業と土地利用によるもので、これには畜牛のゲップによるメタン、肥料から出る亜酸化窒素、農場・牧草地のための森林伐採による二酸化炭素が含まれます。また、食品廃棄物や、埋立地から発生するメタンも排出ガスの要因となっています。

『Nature Sustainability』誌で2021年に発表された研究によると、2050年までに世界が植物性食品の消費に切り替えた場合、大気中から二酸化炭素が除去され、産業革命前のレベルからの気温上昇を1.5℃に抑えられるとされています。逆に、『Nature Climate Change』誌に発表された研究結果によると、植物性食品に切り替えなかった場合、世界の食料消費によって2100年までの気温上昇がさらに1℃高まるとされています。

オックスフォード大学が英国で実施した研究によると、国内で日に100g以上の肉を消費する人がこれを50g以下に減らした場合、これによる排出ガスの削減は、走行する800万台の自動車をなくすのに等しいとされています。

こうした研究結果を受け、気候活動家たちは、2015年のパリ協定に付随するPlant Based Treaty（プラントベース協定）を推し進めています。また、気候変動対策について研究しているProject Drawdownは、植物性食品の大規模な採用は、2100年までに気温上昇を2℃以下に抑えるために2番目に効果的な方法であると考えています。

キャメロンさんが植物性の食事法に切り替えたのは、2年前。4羽のひよこを自宅で飼育することになったときでした。ひよこの育て方を調べ、畜産についての記事を読むうちに、工業的畜産で飼育された動物を食べることに抵抗を感じるようになりました。熱心なロータリアンだったキャメロンさんは、2022年に「環境の持続可能性のためのロータリー行動グループ」の植物性食品推進タスクフォースに参加。そこで、グループが前年に実施したオンラインの「15日間植物性食品チャレンジ」に世界から800人近くが参加したことを知りました。

このチャレンジの成功を広げたいと考えたキャメロンさんは、個人やグループがいつでも実施できるチャレンジを提案してオンラインで公開しました。数十人が参加し、団体や国内外のクラブからの参加もありました。

ロータリークラブHPより

◇ 出席報告 菅谷出席委員長

例会	項目	会員総数 (名誉会員を除く)	出席計算に 用いた会員数	出席または メイクアップ会員数		出席率(%)
				出席	メイク	
第1例会		13会員	13会員	出席: 7	メイク: 0	53.85%
第2例会		13会員	13会員	出席:	メイク:	
第3例会		13会員	13会員	出席:	メイク:	
第4例会		13会員	13会員	出席:	メイク:	
12月度平均						

12月度出席表 出席:○ 欠席: / M+数字:メイクアップ回数 出席免除:免

会員名	7日	14日	21日	28日	出席数	M数	会員名	7日	14日	21日	28日	出席数	M数
安藤 信一	/												
安藤 寿博	○												
泉 純一郎	○												
遠藤 貴之	/												
金子 大作	○												
後藤美紀代	○												
才賀 秀樹	/												
西條 健一	○												
西條 昌良	/												
篠塚 茂男	○												
菅谷 昭夫	○												
高橋 佑至	/												
藤代 広樹	/												

メイクアップ

◇ ニコニコBOX報告 安藤 (寿) 親睦委員

篠塚 茂男 今月もよろしくお願ひします ¥2,000
 安藤 寿博 今月もよろしくお願ひします ¥2,000

ニコニコBOX 4,000円
 コインBOX 1,010円
 ビジター (0件) 0円
 合計 5,010円

ニコニコBOX	
1週	4,000円
2週	円
3週	円
4週	円
月計	4,000円
累計	121,000円

コインBOX	
1週	1,010円
2週	円
3週	円
4週	円
月計	1,010円
累計	20,916円

12月の予定 14日 21日 28日